



記者会見で大学運営の
抱負を語る野田学長＝
刈谷市の愛知教育大で

「地域の発展に貢献を」 愛教大・野田新学長が抱負

愛知教育大（刈谷市）の 学校教員として勤務。二〇
野田敦敬学長（六）が二十
日、学長として初めて記者
会見に臨み、大学運営への
抱負を語った。就任した四
月に会見予定だったが、新
型コロナウイルス感染拡大
で見送っていた。

野田学長は愛教大の使命
に教育、研究、研修、啓発
の四項目を挙げた。「研究
力と実践力を備えた、魅力
ある教員と教育支援専門職
養成をリードする。日本語
指導や特別支援教育にも力
を入れ、地域の発展に貢献
する研究・開発に取り組
む」と意気込みを示した。

教職の魅力発信と志望者
を増やす試みも使命と強
調。「『この先生、職員に
出会えて良かった』という
思いを学生に持つてほしい
と考えている。教職員は愛
をもつてそれぞれの立場で
盛り上げてほしい」と期待
した。魅力ある大学づくりに
向け、四十代の准教授二
人を学長補佐に新たに任命
したことを紹介。「大学の
これからを担う皆さんの考
えやエネルギーを大学改革
に生かす」と述べた。

野田学長は名古屋市内出
身。愛教大大学院教育学研
究科修士課程の理科教育専
攻を修了。一九八三年から
十四年間は名古屋市内の小